

## 第 3 回

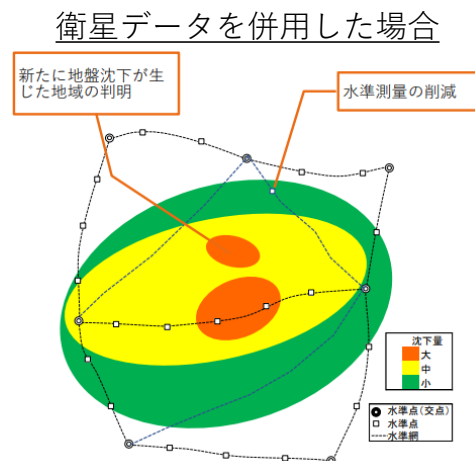
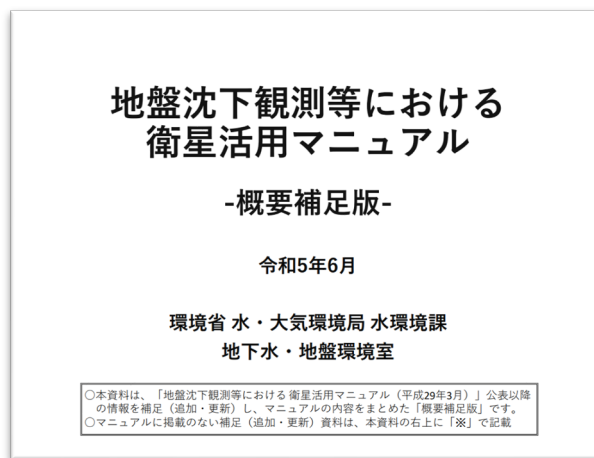
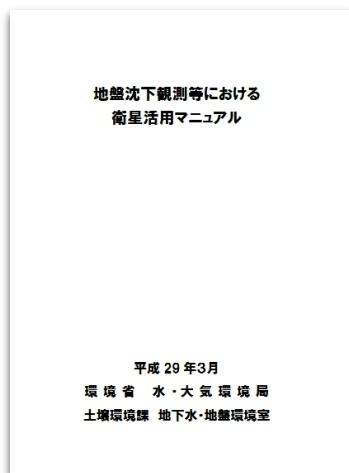
# 衛星リモートセンシングデータ利用タスクフォース大臣会合

## 環境省提出資料

- R5地盤沈下監視における衛星データの利用促進について
- 再生可能エネルギー資源発掘・創生のための情報提供システム整備事業
- 自然環境保全基礎調査：サンゴ礁分布調査
- 自然環境保全基礎調査：植生調査

## 1) マニュアルの整備状況（平成29年度公開済み）

- 従来から行っていた地盤沈下測量に加え、新たに衛星を利用することで広範囲・効率的な地盤沈下の把握が可能となる「地盤沈下観測等における衛星活用マニュアル（106ページ）」を平成29年度に整備し、公開した。
- 衛星データの活用に関心のある77自治体にマニュアルを送付した。
- 地方自治体の職員等を対象に分かりやすいマニュアルの概要資料「地盤沈下観測等における衛星活用マニュアル-概要補足版-（45ページ）」を作成し、令和5年6月に公開した。



## 2) 普及に向けた今後の対応

- 新たに公開したマニュアルの概要資料を用いて、地盤沈下・測量等に関する会議等で紹介を行っていく予定。現在のところ、令和5年7月に行なわれた全国地下水利用対策団体連合会定期総会にて資料の紹介を行なった。

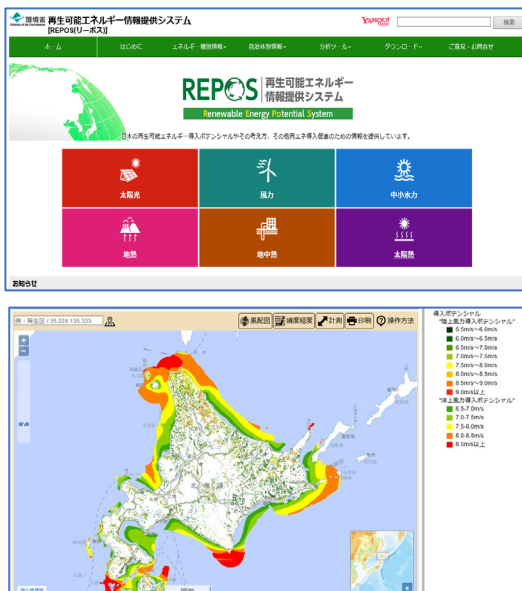
## 再生可能エネルギーの導入を促進するための情報提供システムを整備

### 全国太陽光発電設備導入状況・導入可能性調査

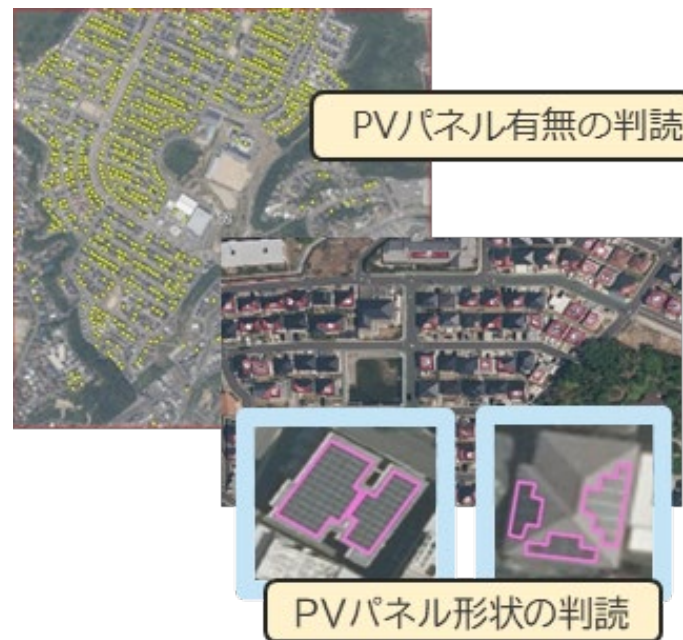
- 再エネ導入ポテンシャル発現に向けた各種施策の進捗把握のため、衛星画像等のAI解析等により効率的に全国の太陽光発電設備の導入状況の把握及び導入可能性の調査を行い、その結果を発信し、太陽光発電設備の導入を促進する。

#### ■実施期間

平成30年度～令和11年度



再生可能エネルギー情報提供システム (REPOS)



全国太陽光発電設備導入状況・導入可能性調査

我が国のサンゴ礁の分布等について最新状況を把握

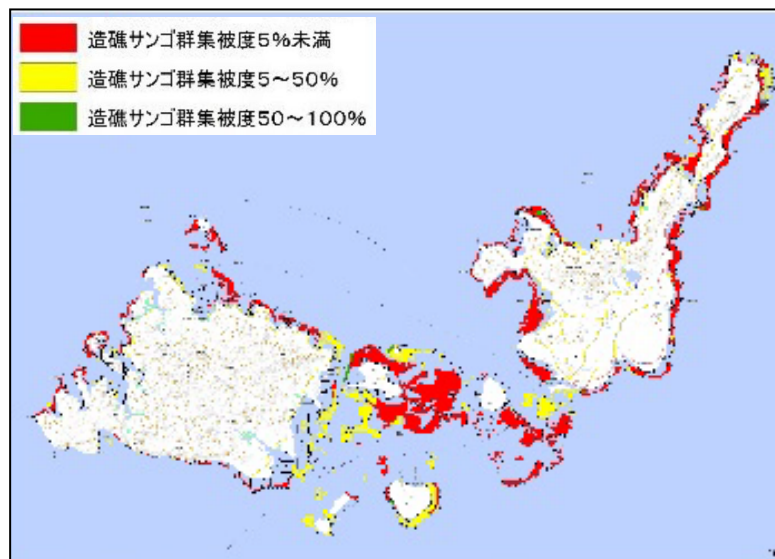
- サンゴ礁に係る過去の調査から20年が経過。気候変動影響の評価や適応策の検討に必要な最新の情報がないため、早急に現況把握を行うことが必要。



衛星画像（解像度:1.5m）によるリモートセンシング、GIS等を積極的に利用するとともに、現地調査による補完を行い、近年の分布状況等のデータが不足している海域を対象にサンゴ礁の分布等の把握を行った。

## ■実施期間

平成29年度～令和3年度

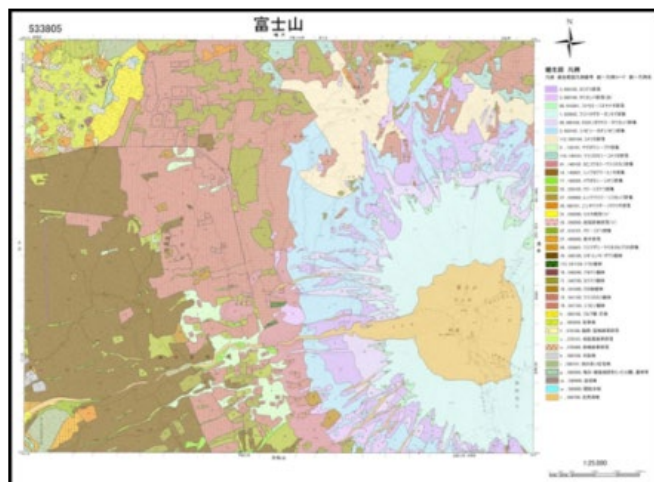


◆H29サンゴ礁分布図(石西礁湖、石垣島、西表島)

## 自然環境保全基礎調査

- 環境基礎情報として植生図の全国整備を加速させている。自然環境保全法に基づき昭和48年度から継続的に実施。
- わが国の自然環境の現状や変化を把握し、GIS等で情報提供。
- 令和5年度に全国整備を完了した。

衛星画像（解像度：0.5m）を利用し、地域の生物多様性の把握に必要な不可欠な基礎図面となる2万5千分の1縮尺の現存植生図を作成。



◆植生図(GISデータ)